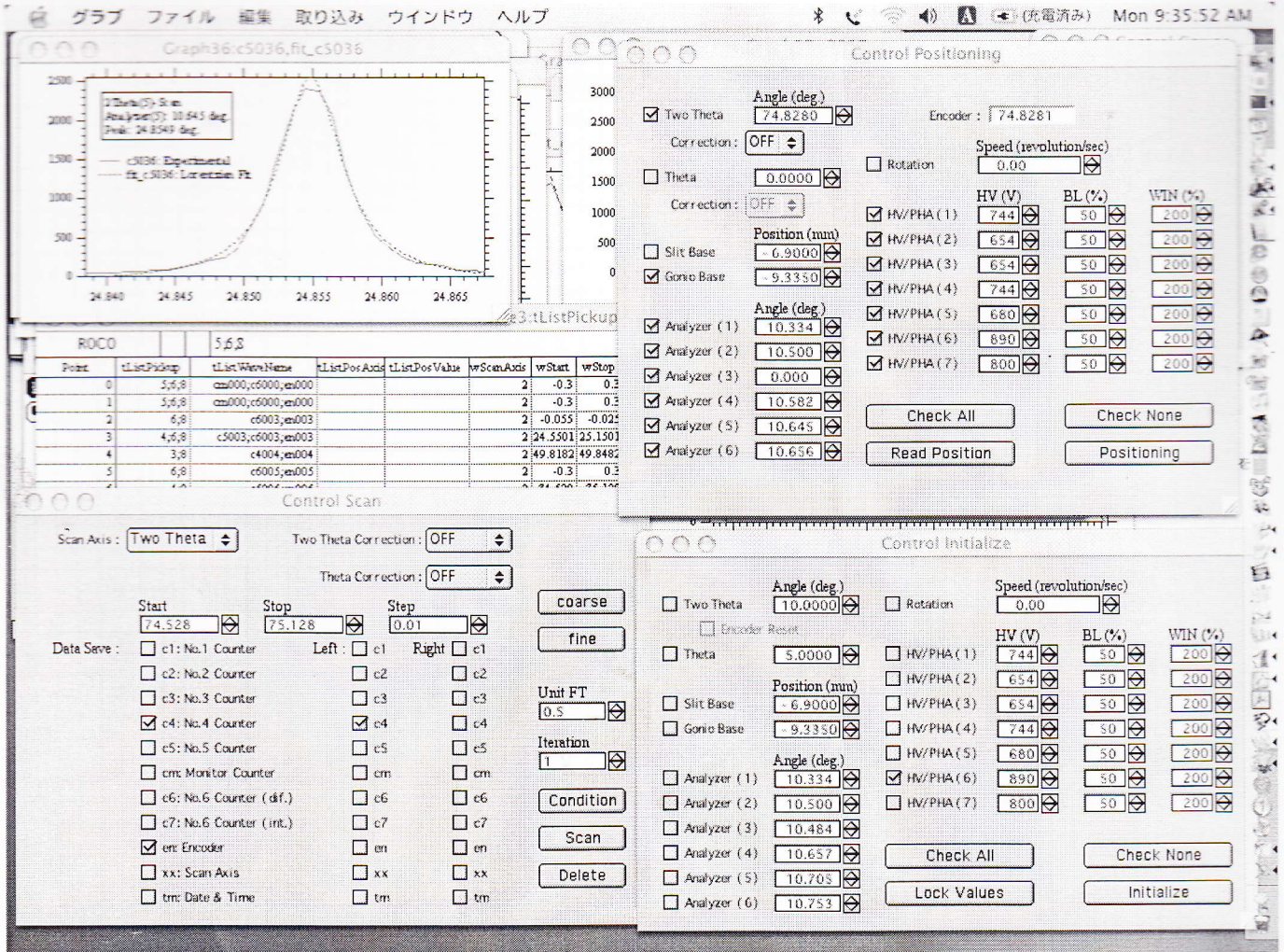


1

(石工大) 井田 誠哉 助教 (Spring 8) 福本 (マニエ)  
2006年6月23日(金) マニエシステム

○ 新測定制御システムのテスト運転, GUI 529-7ページの  
開発.



(529-7ページ)

Igor Pro (WaveMatrix) のマクロ言語による.

一連の自動測定のために, 光学調整にも

使用できるように 529-7ページ 開発者



2006年6月24日(土) シンゲルバンク運転.

○ 新測定制御システムのテスト運転. (700E)

マニュアル<sup>操</sup>作部のインターフェース開発

デフォルト値, リミット値の設定など.

2006年6月25日(日) シンゲルバンク運転

○ 新測定制御システムのテスト運転.

マニュアル操作部のインターフェース開発. 動作チェック

光学系の調整テスト

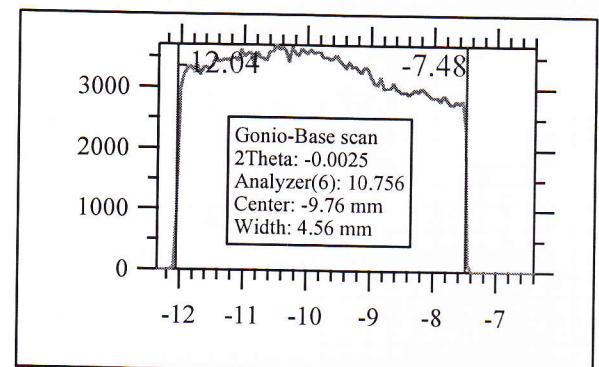
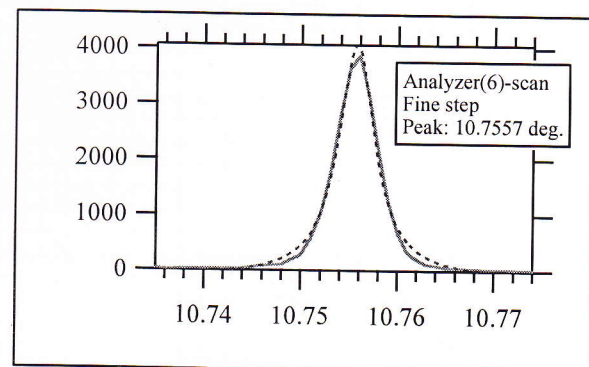
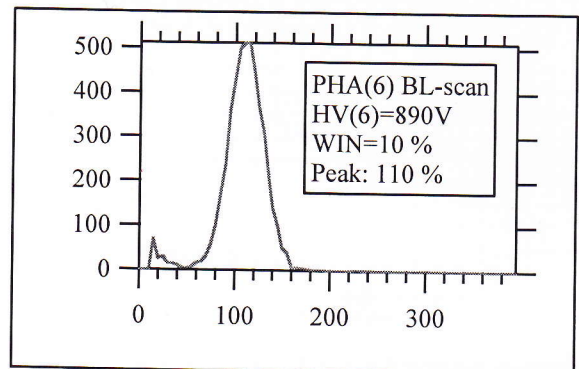
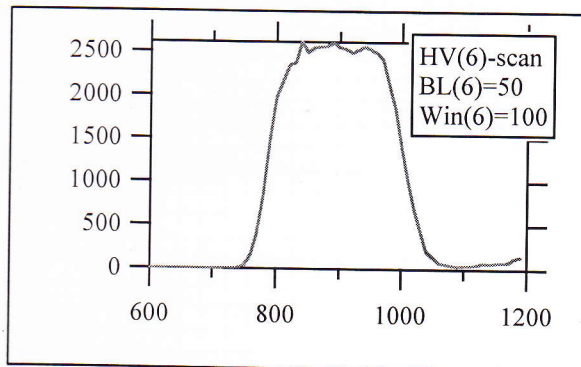
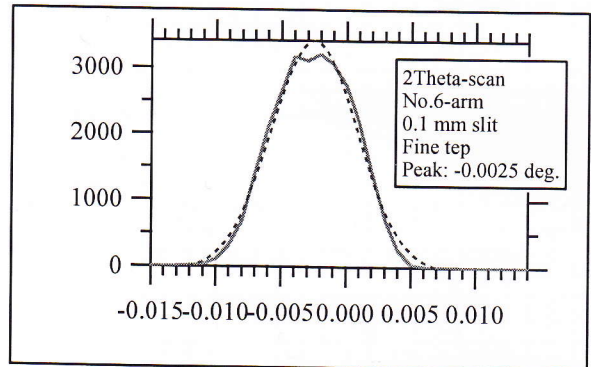
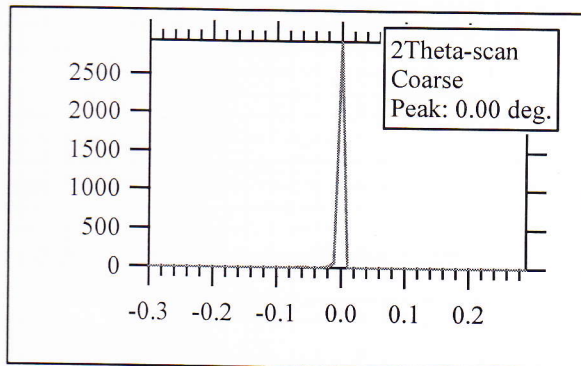
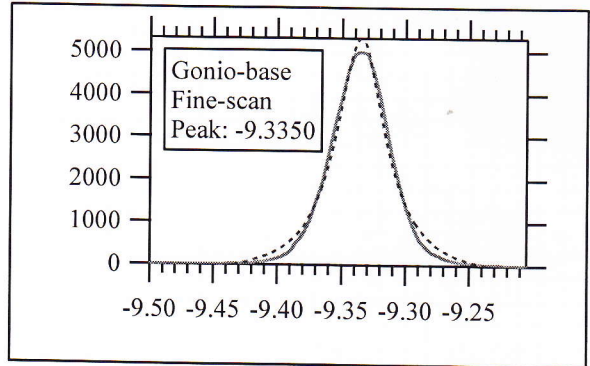
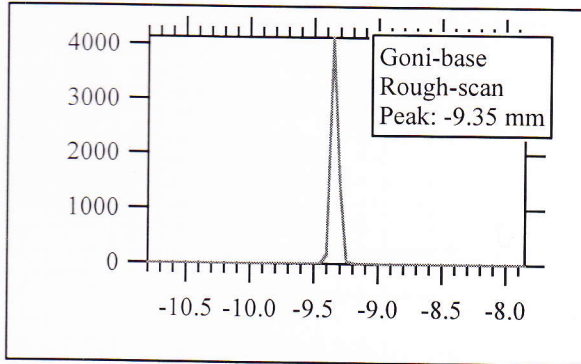
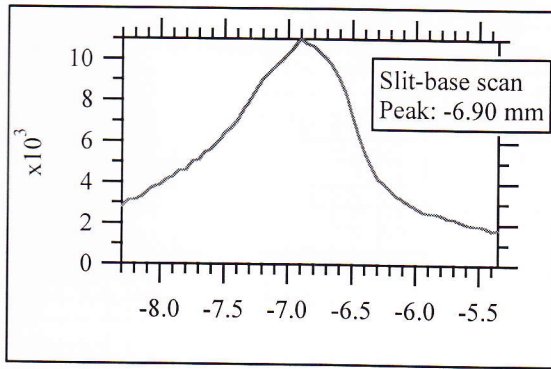
- ・ スリットバー調整
- ・ プレートバー調整
- ・ 光学0°補正値測定
- ・ HV調整
- ・ アナログゲージ調整 (アナログゲージ結晶セッ出し含む)
- ・ 20°補正値測定

以上の各調整がすべて可能であることを  
確認した. (次頁参照)

すべてのスケッチと保存するべきデータを

ヒール値を求めるとともに最小=乗法係数 $\times$ 7

を用いるべきであることを利便させる.





## 申し送り事項 (1)

### 1. 分光準光学系の11°モード

(波長 1.2 Å 設定)

$$\begin{pmatrix} \text{TEM}, \Sigma 2, \text{DT} 2, \Sigma 1 \\ \text{MFV}, \text{MRV}, \text{MFH}, \text{MRH}, \text{BNT} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 10.995, 12.734, 0.234, 0.000 \\ 31.293, 33.394, 3.800, \underbrace{2346}, 0.000 \end{pmatrix}$$

↑  
モードが不明のため調整した際の参考にはなりません。

ポジションモード値 (5PMON-02)

$$(\text{MFV}, \text{MRV}, \text{MFH}, \text{MRH}, \text{BNT}) = (-28.73, -33.32, 3.75, 6.38, 0.09)$$

※ MRH 駆動用モードが CCW 向きに回ります。状態は、2118  
・ 持ちます。

### 2. 回折光学系

了らすサ結晶: 3rd Ge 111

エッジが 3rd 実際の開口幅約 2.3 mm  
に合うように調整してあります。

### 3. その他

測定制御システム

- ・ ワークステーションと X 線コネクタ間の RS-232C 通信の内容を解析し、この結果からすべての測定制御コマンドの同定ができました。
- ・ ロックアップ測定のように入射角を変えて 20 スキャンする一連の測定を自動的に実行できるようにしています。

申し送り事項(2)

温度制御プログラムの現在開発中です。